

第84回国民スポーツ大会
第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会

第4回競技運営専門委員会



令和6年12月17日（火）

島根県市町村振興センター 6階「中会議室」



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会
第4回競技運営専門委員会 次第

日時：令和6年12月17日(火) 14:00～15:30

場所：島根県市町村振興センター 6階「中会議室」

1 開 会

2 報 告

- (1) これまでの大会準備経過 報告事項1
- (2) 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会決定事項 報告事項2
- (3) 競技役員等の養成状況について 報告事項3
- (4) 公開競技における実施競技の中止について 報告事項4
- (5) 会期調査について 報告事項5

3 議 事

- (1) 第84回国民スポーツ大会 競技用具整備要項 (案) 審議事項1
- (2) 第84回国民スポーツ大会 記録業務基本方針 (案) 審議事項2
- (3) 第84回国民スポーツ大会 競技別リハーサル大会開催基準要項 (案) 審議事項3
- (4) 第84回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ実施競技第1次選定 (案) 審議事項4

4 その他

5 閉 会

次回開催予定 令和7年12月頃

競技運営専門委員会 委員

(順不同・敬称略)

選出区分	機 関・団 体 名	役 職 名	氏 名	備 考
学識経験者	島根大学教育学部	教授	境 英俊	委員長
県関係	環境生活部スポーツ振興課	課長	青木 悟	副委員長
スポーツ 団体	公益財団法人島根県スポーツ協会	競技スポーツ課長	陶山 和秀	
	一般財団法人島根陸上競技協会	競技運営委員長	赤木 正英	
	一般財団法人島根県水泳連盟	事務局長	原 薫	
	一般社団法人島根県サッカー協会	事務局長	小松 寛規	
	島根県テニス協会	理事長	西村 覚	
	島根県バレーボール協会	競技委員長	穴戸 秀明	
	島根県柔道連盟	常任理事	宅和 剛	
	島根県ソフトボール協会	理事長	三浦 尚二	
学校関係	島根県中学校体育連盟	理事長	(新) 吉田 真生	
			(旧) 加地 真	
	島根県高等学校体育連盟	理事長	小倉 庸二	
市町村	島根県市長会	事務局次長	(新) 土江 充	
			(旧) 吉川 幸男	
	島根県町村会	事務局次長	嶋田 慎司	

これまでの大会準備経過

年 月 日	内 容
平成30年 9月3日	(公財) 島根県体育協会が理事会・臨時評議員会で、第84回(2029年)国民体育大会招致を決議
9月10日	(公財) 島根県体育協会が、第84回(2029年)国民体育大会招致に関する要望書を、(公財) 島根県障害者スポーツ協会が第29回(2029年)全国障害者スポーツ大会招致要望書を、それぞれ県、県議会、県教育委員会に提出
9月26日	県議会が「第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
10月25日	知事が県議会全員協議会において、両大会を2029年に招致することを表明
11月7日 11月8日	県、(公財) 島根県体育協会、県教育委員会が連名で、開催要望書を(公財) 日本スポーツ協会と文部科学省に提出
12月13日	(公財) 日本スポーツ協会国体委員会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が了承
平成31年 1月16日	(公財) 日本スポーツ協会理事会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が内々定
令和元年 10月1日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会を設置、3回にわたり会議を開催
令和2年 6月3日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会の提言書を岸本強座長より知事に提出
9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県の4者が鹿児島国体及び鹿児島大会を令和5年に開催することを決定し、これにより本県で開催予定の第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を令和12年に1年延期することが決定
10月2日	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会を開催
令和3年 3月22日	準備委員会第1回常任委員会を開催
7月29日	準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
9月7日	準備委員会第1回広報・機運醸成専門委員会を開催

年 月 日	内 容
令和3年	10月7日 準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
	10月12日 準備委員会第2回常任委員会を開催
令和4年	2月16日 準備委員会愛称・スローガン選定部会を開催
	3月7日 準備委員会第2回広報・機運醸成専門委員会を開催
	3月11日 準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
	3月11日 準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
	3月16日 準備委員会第2回総会を開催
	10月20日 準備委員会第3回広報・機運醸成専門委員会を開催
	12月7日 準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
	12月16日 準備委員会第3回総会を開催
令和5年	1月17日 準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
	2月17日 準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
	3月9日 準備委員会第3回常任委員会を開催（書面開催）
	7月11日 準備委員会第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	7月14日 準備委員会第4回総会を開催（書面開催）
	7月27日 準備委員会第1回広報・地域づくり専門委員会を開催
	9月4日 準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
令和6年	2月6日 準備委員会第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	2月9日 準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催（書面開催）
	3月6日 準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
	3月14日 準備委員会第4回常任委員会を開催
	5月30日 準備委員会第2回広報・地域づくり専門委員会を開催
	6月25日 準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催
	7月3日 準備委員会第5回総会を開催
	10月17日 準備委員会第1回宿泊・衛生専門委員会を開催

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会決定事項

○第 4 回常任委員会（令和 6 年 3 月 14 日）

- ・島根県準備委員会関係規程の一部改正
- ・開催準備総合計画の改正
- ・開催基本構想の策定
- ・県民運動基本方針
- ・県民運動基本計画
- ・第 84 回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画改正
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村第 1 次選定
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等編成基本方針
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本計画
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 ボランティア養成基本方針
- ・第 29 回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針

○第 5 回総会（令和 6 年 7 月 3 日）

- ・令和 5 年度事業報告
- ・令和 5 年度収支補正予算（第 2 号）（会長専決処分）
- ・令和 5 年度収支決算
- ・島根県準備委員会専門委員会規程改正
- ・開催準備総合計画改正
- ・令和 6 年度暫定収支予算（会長専決処分）
- ・令和 6 年度事業計画
- ・令和 6 年度収支予算
- ・「島根かみあり国スポ・全スポ」イメージソング制作方針について
- ・県民運動に向けた方針について

各委員会の会議資料については、以下県の HP 配下に PDF ファイルをアップしています。

【島根県 HP】

くらし > 文化・スポーツ > スポーツ > 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 > 準備委員会

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo_dai29kaisyouspo/junbiiinkai/（右記 QR コードも同様のページへ遷移します。）



第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画

令和3年10月12日
第2回常任委員会決定
令和6年7月3日
第5回総会改正

年度	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	
逆年	(開催12年前) 内々定	(開催11年前)	(開催10年前)	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	(開催5年前) 内定	(開催4年前)	(開催3年前) 決定	(開催2年前)	(開催1年前)	開催年	
開催手続	開催要望書提出 (日ス協・文科省)						中央競技団体視察	開催申請書提出 (日ス協・文科省)		日ス協・文科省視察 決定書受領(会期確定)		中央競技団体視察		
準備組織等	県	国スポ担当スタッフ設置 (スポーツ振興課内)	国スポ準備室設置 (スポーツ振興課内)	業務の増加・細分化に応じて組織を拡充(課の設置など)					国スポ準備局設置				大会実施本部	
	市町村 競技団体		市町村担当者会議 競技団体担当者会議	競技運営計画 競技役員等養成計画	競技役員等養成の推進		会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)	会場地市町村国スポ実行委員会				県庁事務本部	大会本部 市町村競技会実施本部	
組織		国スポ・全スポ検討懇話会 【提言内容】 ・目指す成果と開催の意義・高潮における大会のあり方・取組の方向性	国スポ・全スポ準備委員会 総会 常任委員会	総務企画専門委員会 競技運営専門委員会 広報・機運醸成専門委員会	全国障害者スポーツ大会 専門委員会	宿泊・衛生専門委員会 輸送・交通専門委員会 式典専門委員会	警備・消防専門委員会 募金・協賛推進委員会	魅力発信・誘客専門委員会			国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会 実行委員会			最終総会 解散
	全体計画		開催基本方針 会場地市町村選定基本方針 総合開・閉会式会場選定	開催準備総合計画(1次)	開催基本構想決定		開催準備総合計画(随時更新)						大会報告書	
総務企画	会場地選定		会場地市町村選定基準 国スポ正式競技・特別競技 会場地市町村選定(数次) 国スポ 公開競技・デモンストレーションスポーツ 会場地市町村選定	全スポ 個人競技・団体競技 会場地市町村選定	全スポ オープン競技 会場地市町村選定									
	基金・ 企業協賛		県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針 業務分担・経費負担細目				基金・企業協賛 推進基本方針・要項			募金・企業 協賛活動の推進				
	競技 式典会場		競技施設整備基本方針	競技施設基準	競技施設整備計画									
	文化プログラム									県・市町村の競技施設及び式典会場整備の推進			文化プログラム実施	
	情報通信									文化プログラム基本方針	文化プログラム実施計画・実施要項・募集		文化プログラム実施	
	行幸啓等									情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの調整	情報通信本部	
	総合案内									行幸啓の準備(行幸啓・お成り計画、警備計画)			行幸啓等最終調整	
競技運営	競技運営		競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画	競技運営基本方針 公開競技実施基本方針	競技役員等養成事業		記録業務基本方針	リハーサル大会 開催準備要項		記録関係業務基本計画	記録関係業務運営要綱	競技役員等編成	総監督会議 記録本部 総合・競技別 プログラム	
	競技用具			競技用具整備基本方針	競技用具整備の検討		競技用具整備計画		競技用具整備の推進					
広報・ 地域づくり	広報		広報基本方針、基本計画		広報活動の推進(ホームページ、SNS、広報誌、チラシ、ポスター、各種メディア活用、懸垂幕、横断幕、記録映像等)								報道本部	
	機運醸成		愛称、スローガン募集・決定	マスコットキャラクター、イメージソング等の作成検討(募集・決定)									全国報道会議	
	地域づくり				県民運動基本方針 県民運動基本計画					県民運動の推進(各種グッズの作成及び配布、花いっぱい運動等の実施団体支援など)				
魅力発信・誘客										地域経済活性化に向けた取組の検討・推進				
宿泊・衛生	宿泊				宿泊基礎調査	宿泊基本方針	宿泊基本計画			鳥根の魅力発信に向けた取組の検討・推進			宿泊本部	
	医事・衛生									宿泊施設実態調査	宿泊料金決定	宿泊要項		
輸送・交通			主会場周辺の輸送、 交通等に関する調査	主会場周辺の輸送、交通等に関する課題整理、調整	輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	輸送・交通業務指針			標準駅立寄方方針	標準駅立寄及実施要領	標準駅立寄及講習	救護本部・救護所	
										医療・衛生基本方針	医療・衛生基本計画	医療・衛生対策各種要項	医療・衛生準備の推進(食品衛生、環境衛生、防疫対策等)	
式典・会場	式典									開・閉会式輸送計画			輸送本部	
	会場									全国輸送計画・会場地輸送調整				
警備・消防										式典準備の推進(式典演技、式典音楽、炬火リレー、リハーサル等)			式典本部	
										会場管理基本方針	会場管理基本計画	会場管理体制の整備	警備本部	
全国障害者スポーツ大会						オープン競技実施基本方針				警備・消防・防災 基本方針・基本計画	警備・消防・防災準備の推進(関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など)		消防・防災本部	
										競技役員等の養成、ボランティア募集・養成等				
													競技用具整備	

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

令和6年3月14日
第4回常任委員会決定

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

開催基本構想



自分を**超**えろ、**神**話をつくれ

島根 **かみあり**

国スポ・全スポ

2030

第84回国民スポーツ大会

第29回全国障害者スポーツ大会



第1章 島根かみあり国スポ・全スポの開催で目指すところ

1. 大会の概要

1. 国民スポーツ大会とは

国民スポーツ大会（国スポ）は、各都道府県持ち回り方式で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

【目的】

- ① 広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図ること
- ② 地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすること

【形式】

競技得点の合計を競い合う、都道府県対抗方式で開催されます。

天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

【実施競技】

●実施予定競技（正式競技：37 競技 ※競技得点の対象となる競技）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ・陸上競技 | ・水泳 | ・サッカー |
| ・テニス | ・ローイング | ・ホッケー |
| ・ボクシング | ・バレーボール | ・体操 |
| ・バスケットボール | ・レスリング | ・セーリング |
| ・ウェイトリフティング | ・ハンドボール | ・自転車 |
| ・ソフトテニス | ・卓球 | ・相撲 |
| ・フェンシング | ・柔道 | ・ソフトボール |
| ・バドミントン | ・弓道 | ・ライフル射撃 |
| ・剣道 | ・ラグビーフットボール | ・スポーツクライミング |
| ・カヌー | ・アーチェリー | ・空手道 |
| ・クレール射撃 | ・ボウリング | ・ゴルフ |
| ・軟式野球 | ・銃剣道 | ・なぎなた |
| ・トライアスロン | | |

このほか得点の対象外になりますが、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」に区分し、多くの競技を実施します。

2. 全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会（全スポ）は、国民スポーツ大会終了後に同じ都道府県で開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。

【目的】

- ① 障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験すること
- ② 国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与すること

【形式】

全国から都道府県・指定都市の選手団が参加し、全国の障がい者スポーツの交流の場として、人と人との交流、地域との連帯を深める機会となります。

【実施競技】

●実施予定競技（正式競技 個人競技：7 競技）	
・陸上競技（身・知）	・水泳（身・知）
・アーチェリー（身）	・卓球（身・知・精）
・フライングディスク（身・知）	・ボウリング（知）
・ボッチャ（身）	
●実施予定競技（正式競技 団体競技：7 競技）	
・バスケットボール（知）	・車いすバスケットボール（身）
・グランドソフトボール（身）	・ソフトボール（知）
・バレーボール（身・知・精）	・サッカー（知）
・フットソフトボール（知）	

このほか「オープン競技」という区分を設け、多くの競技を実施します。

2. 当県における大会開催の意義

1982年に開催された「くにびき国体」、「ふれあい大会」から48年
2030年に開催を予定する第84国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会「島根かみあり国スポ・全スポ」を機に私たちが描く未来

オール島根で島根愛を醸成し、スポーツを通して豊かな人と地域を創る
“島根創生の実現を目指して”

本大会では、県民一人一人が参加し協力するなかで、得られる感動や達成感を共有する時間が、地域・年齢・性別・障がいのあるなしを超えた繋がりを創る好機になると考えます。

また、大会に向け県民が一体となって取り組む力を体感し、島根県を代表する選手が躍動する姿を見ることで、将来に続く希望を育む推進力にしたいと考えます。

そして、スポーツを通じた人づくり、郷土愛や地域への誇りを醸成していくことで、活力に満ち、誰もがともに支え合うなかで「笑顔」あふれる地域を目指すために、4つの項目に取り組みます。

1. スポーツを通じて人と地域をつくる大会

○スポーツに親しむ環境づくり

県民が「する」、「みる」、「ささえる」など様々な立場でスポーツを身近に感じ、触れられる環境を整備することで、地域コミュニティの維持・発展、健康増進につなげます。

○スポーツの普及・推進

前回くにびき国体を契機に地域に根ざした奥出雲町のホッケーや美郷町のカヌーのように、地域や学校等との連携により、スポーツに関わる人材を育成するとともに、その受け皿をつくることで、地域に活力を生み出します。

2. とともに支え合う社会を推進する大会

○共生社会の推進

若者から高齢者、障がいのあるなしに関係なく、誰もが日常的にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。

○障がい者への理解促進

全ての人と一緒にスポーツを楽しむことで、絆を育み、お互いを理解し、支え合う意識をもてる社会を目指します。

3. 環境に配慮したコンパクトな大会

○環境負荷の低減

既存施設の改修や隣県施設の活用、リサイクル等による環境へ与える負荷を低減することを考慮し、準備に取り組みます。

○多様な人との協働

大会を運営する関係団体だけでなく、その他企業・団体や県内外からのボランティアなど、多様な人々と協働することで効率的な大会運営を目指します。

4. 地域活性化につながる大会

○県民一人一人によるおもてなし

県民総参加で大会を盛り上げるとともに、全国各地から来県される方々を心のかもったおもてなしで迎えることで、大会を通じて島根ファンを増やすことにつながります。

○島根県の多彩な魅力の発信

島根が誇る自然、歴史、伝統芸能や伝統工芸などの文化・芸術及び食やサービスについて情報を発信していくとともに、触れられる機会をつくります。

第 84 回 国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画

1 趣旨

第 84 回 国民スポーツ大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

下記に基づいて第 84 回 国民スポーツ大会の審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民スポーツ大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準（（公財）日本スポーツ協会）
- (2) 第 84 回 国民スポーツ大会競技役員等編成基本方針
- (3) 第 84 回 国民スポーツ大会競技役員等養成基本方針
- (4) 第 84 回 国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数【別表 1】

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。【別表 2・3】

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

第84回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時* 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成* 目標数 ⑨
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	450	437	0	437	25	12	37	400	380	20	27
2	水泳	521	229	189	418	63	37	100	318	138	180	241
3	サッカー	392	111	50	161	42	35	77	84	70	14	19
4	テニス	222	121	0	121	7	0	7	114	44	70	92
5	ローイング	135	45	0	45	11	16	27	18	5	13	18
6	ホッケー	183	20	15	35	16	9	25	10	4	6	9
7	ボクシング	150	35	0	35	34	0	34	1	0	1	2
8	バレーボール	470	76	36	112	11	39	50	62	45	17	23
9	体操	381	129	4	133	44	44	88	45	34	11	18
10	バスケットボール	303	96	0	96	36	25	61	35	31	4	6
11	レスリング	165	41	0	41	36	0	36	5	0	5	7
12	セーリング	230	22	63	85	8	42	50	35	1	34	47
13	ウエイトリフティング	165	40	0	40	4	26	30	10	8	2	4
14	ハンドボール	197	42	34	76	28	17	45	31	8	23	32
15	自転車	199	143	0	143	37	34	71	72	26	46	62
16	ソフトテニス	222	132	0	132	2	0	2	130	92	38	51
17	卓球	172	76	0	76	1	0	1	75	64	11	15
18	軟式野球	209	70	0	70	6	4	10	60	45	15	20
19	相撲	167	50	0	50	11	14	25	25	22	3	4
20	フェンシング	103	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
21	柔道	194	41	11	52	33	0	33	19	19	0	0
22	ソフトボール	205	69	37	106	2	12	14	92	23	69	90
23	バドミントン	266	110	14	124	10	8	18	106	80	26	34
24	弓道	156	29	0	29	0	12	12	17	10	7	10
25	ライフル射撃	139	62	0	62	32	25	57	5	2	3	4
26	剣道	121	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	119	22	0	22	2	4	6	16	5	11	15
28	スポーツクライミング	150	22	0	22	5	3	8	14	6	8	11
29	カヌー	224	160	0	160	27	0	27	133	1	132	173
30	アーチェリー	102	33	7	40	6	9	15	25	7	18	26
31	空手道	212	45	0	45	41	0	41	4	0	4	6
32	銃剣道	91	17	4	21	17	0	17	4	2	2	3
33	クレー射撃	112	14	15	29	11	15	26	3	0	3	4
34	なぎなた	112	21	15	36	25	0	25	11	8	3	5
35	ボウリング	128	28	6	34	1	1	2	32	16	16	23
36	ゴルフ	87	0	42	42	6	0	6	36	0	36	47
37	トライアスロン	111	70	18	88	6	36	42	46	21	25	34
38	高校野球	120	40	0	40	0	0	0	40	33	7	10
合計		7,685	2,750	560	3,310	698	479	1,177	2,133	1,250	883	1,192

※1 開催時従事見込数：2030年の第84回国民スポーツ大会開催時に審判員・要資格運営員として活動できる県内有資格者数
審判員の年齢（定年制を含む）や審判員以外（選手・監督等）で国スポに参加する等の理由により、今後の審判員養成の対象外となるものを除く

※2 養成目標数：原則として、⑨不足数に1.3を乗じた数（1.3倍の安全率は途中で資格取得が困難になった場合の減少数を考慮して設定）

<別表2>

第84回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格取得】

No.	内訳 競技名	養成（資格取得）年次計画								延養成数
		2023 (7年前)	2024 (6年前)	2025 (5年前)	2026 (4年前)	2027 (3年前)	2028 (2年前)	2029 (1年前)	2030 (開催年)	
1	陸上競技	0	17	17	15	15	13	0	0	77
2	水泳	41	61	39	42	44	43	30	0	300
3	サッカー	4	5	5	6	3	0	0	0	23
4	テニス	18	19	21	21	20	16	10	0	125
5	ローイング	2	2	2	3	6	3	3	0	21
6	ホッケー	1	3	3	2	2	2	2	0	15
7	ボクシング	1	0	1	0	0	1	0	0	3
8	バレーボール	5	5	9	6	3	1	2	0	31
9	体操	15	4	8	4	1	3	2	0	37
10	バスケットボール	4	3	3	1	1	1	0	1	14
11	レスリング	3	1	2	2	2	2	0	0	12
12	セーリング	2	6	7	13	15	8	8	0	59
13	ウエイトリフティング	0	3	4	3	0	0	0	0	10
14	ハンドボール	11	8	13	9	12	10	10	5	78
15	自転車	0	20	11	11	11	11	0	0	64
16	ソフトテニス	12	14	16	18	21	4	2	0	87
17	卓球	3	2	3	3	3	2	2	0	18
18	軟式野球	5	5	5	5	0	0	0	0	20
19	相撲	0	1	1	1	1	0	0	0	4
20	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	柔道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	ソフトボール	28	48	12	67	30	4	0	0	189
23	バドミントン	3	7	7	7	7	6	5	0	42
24	弓道	5	2	4	2	2	1	0	0	16
25	ライフル射撃	1	1	1	1	0	0	0	0	4
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	2	4	4	2	2	2	2	1	19
28	スポーツクライミング	4	2	3	2	2	1	0	0	14
29	カヌー	10	8	5	5	7	47	56	40	178
30	アーチェリー	10	8	6	6	5	6	5	2	48
31	空手道	0	0	2	2	1	1	0	0	6
32	銃剣道	0	0	1	0	1	1	0	0	3
33	クレール射撃	1	1	1	1	0	0	0	0	4
34	なぎなた	0	4	3	2	0	0	2	0	11
35	ボウリング	0	6	4	8	3	7	4	4	36
36	ゴルフ	20	0	0	0	0	20	7	0	47
37	トライアスロン	12	6	7	6	7	9	5	0	52
38	高校野球	2	2	2	2	2	0	0	0	10
合 計		225	278	232	278	229	225	157	53	1,677

<別表3>

第84回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	養成（資格維持・資質向上）年次計画								計
		2023 （7年前）	2024 （6年前）	2025 （5年前）	2026 （4年前）	2027 （3年前）	2028 （2年前）	2029 （1年前）	2030 （開催年）	
1	陸上競技	380	369	375	382	387	394	407	407	3,101
2	水泳	134	163	212	244	282	314	349	379	2,077
3	サッカー	85	84	84	83	86	89	89	89	689
4	テニス	41	55	68	83	98	112	126	136	719
5	ローイング	5	7	9	11	11	17	20	23	103
6	ホッケー	6	6	8	11	11	11	11	13	77
7	ボクシング	1	2	1	2	2	1	2	2	13
8	バレーボール	63	63	59	62	65	67	66	68	513
9	体操	32	42	40	44	47	47	50	52	354
10	バスケットボール	30	33	34	36	36	36	37	36	278
11	レスリング	2	5	5	5	5	5	7	7	41
12	セーリング	1	3	9	12	21	34	40	48	168
13	ウエイトリフティング	8	7	8	9	12	12	12	12	80
14	ハンドボール	5	12	11	19	20	26	30	35	158
15	自転車	26	26	45	55	66	77	88	88	471
16	ソフトテニス	90	98	106	114	122	139	141	143	953
17	卓球	76	77	76	76	76	77	77	79	614
18	軟式野球	45	50	55	60	65	65	65	65	470
19	相撲	22	22	23	24	25	26	26	26	194
20	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	柔道	19	19	19	19	19	19	19	19	152
22	ソフトボール	75	63	101	46	83	109	113	113	703
23	バドミントン	111	107	107	107	107	108	109	114	870
24	弓道	15	18	16	18	18	19	20	20	144
25	ライフル射撃	2	3	4	5	6	6	6	6	38
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	14	14	16	18	18	18	18	19	135
28	スポーツクライミング	4	8	9	12	14	16	17	17	97
29	カヌー	1	11	19	24	27	32	78	134	326
30	アーチェリー	6	14	20	24	28	27	28	31	178
31	空手道	0	0	0	2	4	5	6	6	23
32	銃剣道	2	2	2	3	3	4	5	5	26
33	クレー射撃	3	3	3	3	4	4	4	4	28
34	なぎなた	8	6	9	11	13	13	11	13	84
35	ボウリング	16	13	18	17	25	25	32	35	181
36	ゴルフ	0	20	20	20	20	20	40	47	187
37	トライアスロン	20	30	33	38	41	43	50	55	310
38	高校野球	33	35	37	39	41	43	43	43	314
合 計		1,381	1,490	1,661	1,738	1,908	2,060	2,242	2,389	14,869

第84回国民スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成状況
【資格取得】

報告事項3

No.	内訳 競技名	養成状況								延養成数
		2023 (7年前)	2024 (6年前)	2025 (5年前)	2026 (4年前)	2027 (3年前)	2028 (2年前)	2029 (1年前)	2030 (開催年)	
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画 実績
1	陸上競技	0	17	17	15	15	13	0	0	77
		0								0
2	水泳	41	61	39	42	44	43	30	0	300
		48								48
3	サッカー	4	5	5	6	3	0	0	0	23
		2								2
4	テニス	18	19	21	21	20	16	10	0	125
		18								18
5	ローイング	2	2	2	3	6	3	3	0	21
		10								10
6	ホッケー	1	3	3	2	2	2	2	0	15
		1								1
7	ボクシング	1	0	1	0	0	1	0	0	3
		1								1
8	バレーボール	5	5	9	6	3	1	2	0	31
		5								5
9	体操	15	4	8	4	1	3	2	0	37
		11								11
10	バスケットボール	4	3	3	1	1	1	0	1	14
		7								7
11	レスリング	3	1	2	2	2	2	0	0	12
		3								3
12	セーリング	2	6	7	13	15	8	8	0	59
		4								4
13	ウエイトリフティング	0	3	4	3	0	0	0	0	10
		0								0
14	ハンドボール	11	8	13	9	12	10	10	5	78
		0								0
15	自転車	0	20	11	11	11	11	0	0	64
		20								20
16	ソフトテニス	12	14	16	18	21	4	2	0	87
		9								9
17	卓球	3	2	3	3	3	2	2	0	18
		3								3
18	軟式野球	5	5	5	5	0	0	0	0	20
		1								1
19	相撲	0	1	1	1	1	0	0	0	4
		4								4
20	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0								0
21	柔道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0								0
22	ソフトボール	28	48	12	67	30	4	0	0	189
		34								34
23	バドミントン	3	7	7	7	7	6	5	0	42
		0								0
24	弓道	5	2	4	2	2	1	0	0	16
		1								1
25	ライフル射撃	1	1	1	1	0	0	0	0	4
		0								0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0								0
27	ラグビーフットボール	2	4	4	2	2	2	2	1	19
		3								3
28	スポーツクライミング	4	2	3	2	2	1	0	0	14
		1								1
29	カヌー	10	8	5	5	7	47	56	40	178
		11								11
30	アーチェリー	10	8	6	6	5	6	5	2	48
		3								3
31	空手道	0	0	2	2	1	1	0	0	6
		0								0
32	銃剣道	0	0	1	0	1	1	0	0	3
		0								0
33	クレー射撃	1	1	1	1	0	0	0	0	4
		0								0
34	なぎなた	0	4	3	2	0	0	2	0	11
		0								0
35	ボウリング	0	6	4	8	3	7	4	4	36
		0								0
36	ゴルフ	20	0	0	0	0	20	7	0	47
		18								18
37	トライアスロン	12	6	7	6	7	9	5	0	52
		19								19
38	高校野球	2	2	2	2	2	0	0	0	10
		3								3
合 計		225	278	232	278	229	225	157	53	1,677
		240	0	0	- 160 -	0	0	0	0	240

第 84 回国民スポーツ大会公開競技に係る実施競技の中止について

1 公開競技の概要

競技の普及をはじめ、国民のスポーツ推進を図り、生涯スポーツ社会の実現に寄与するため、正式競技以外の競技を対象に、必要な条件を満たす競技については、「公開競技」として実施することができるとされている。

2 実施競技について

・ 9 競技

(綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック、スポーツチャンバラ、ダンススポーツ)

3 中止競技について

・ 1 競技

(グラウンド・ゴルフ)

4 理由

(公社) 日本グラウンド・ゴルフ協会の意向による。

第 84 回国民スポーツ大会における会期調査について

1 調査目的

全体会期について、開催 3 年前に日本スポーツ協会と開催県が協議して決定する必要があることから、開催期間を調整するために調査を実施する。

2 主な調査内容

【全体会期】

- ・市町村及び県競技団体が、令和 6 年 6 月～7 月末に実施した「国民スポーツ大会全体会期 基礎調査」を基に島根県準備委員会事務局で仮設定したスケジュールとの整合性を確認する「第一次会期調査」を実施。

【正式競技・特別競技】

- ・会場設営、撤去に係る期間
- ・競技日程
- ・競技別日程の意向（前半及び後半の意向）
- ・会期前実施競技の把握

【公開競技】

- ・競技日程

【デモンストレーションスポーツ】

- ・競技日程

3 調査予定時期

- | | | |
|--------|-----|--------------------------|
| 令和 7 年 | 6 月 | ○担当者への事前説明会 |
| | | ○「第一次会期調査」調査票送付 |
| | 8 月 | ○調査票提出（会場地市町村→県準備委員会事務局） |

4 主なスケジュール

- | | | |
|--------|---------|--|
| 令和 7 年 | 9 月以降 | ○市町村別ヒアリング |
| 令和 8 年 | 1～3 月 | ○ヒアリングを基に再度調整作業
大幅な変更がある場合は第二次調査を実施 |
| | 7～9 月 | ○最終調整 |
| | 10～12 月 | ○JSP0 提出用最終案作成 |

第84回国民スポーツ大会競技用具整備要項（案）

1 趣旨

この要項は、「第84回国民スポーツ大会競技用具整備基本方針」（以下「基本方針」という。）に基づき、第84回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営に万全を期するとともに、大会を契機としてスポーツの普及・振興に資することを目的とし、大会開催に必要な競技用具の整備について必要な事項を定める。

2 競技用具の区分

(1) この要項でいう競技用具とは、次表のとおりとする。

	区 分		内 容	例 示
競 技 用 具	競技用	備品	競技を実施するために直接必要な備品 (施設及び施設に付帯するものは除く)	ゴールポスト、卓球台、 得点板等
		消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品	ボール、フラッグ、ネット 等
	運営用	備品	競技を実施するために直接必要な備品以外 のもので、競技会運営に必要な備品	机、テント、 放送器具等
		消耗品	競技を実施するために直接必要な消耗品以 外のもので、競技会運営に必要な消耗品	事務用品、清 掃用具等

(2) この要項で備品とは、比較的長期にわたって、その性質又は形状を変更することなく使用に耐えるもので、取得価格が50,000円以上の物品をいう。

(3) この要項で消耗品とは、備品以外の物品をいう。

3 競技用具整備計画の作成

(1) 競技用具整備計画は、会場地市町村が県競技団体及び県と協議の上、作成する。

(2) 競技用具の規格及び数量については、県及び会場地市町村が県競技団体と協議の上、公益財団法人日本スポーツ協会及び中央競技団体と調整し決定する。

(3) 競技用具の整備に当たっては、大会時に使用可能な現有の競技用具を活用し、不足する場合には借用する。特に、大会終了後の利活用が困難なものはできる限り借用する。

なお、現有活用及び借用により整備してもなお不足する競技用具については購入する。

(4) 競技用具の整備時期は、競技別リハーサル大会の実施などを勘案し調整する。

4 業務分担及び経費負担

(1) 競技用具の借用は、会場地市町村が行うものとし、その経費を負担する。なお、必要がある場合には、県が会場地市町村の依頼により斡旋に努める。

(2) 競技用具の購入は、次表の業務分担及び経費負担区分により行うものとする。

業務分担及び 経費負担区分 競技会場及び 練習会場の施設区分	県	会場地市町村
県有施設	競技用備品	競技用消耗品 運営用備品及び消耗品
市町村有施設	_____	競技用備品及び消耗品 運営用備品及び消耗品
その他の施設	_____	競技用備品及び消耗品 運営用備品及び消耗品

(3) 基本方針に定める「一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量、質を超えて整備しなければならないもの」については、必要に応じて県と会場地市町村で別途協議する。

5 競技用具の転用及び処分

購入した競技用具の転用及び処分については、大会終了後、購入した者の責任において行うものとする。

6 その他

この要項に定めるもののほか、競技用具整備に必要な事項は、県と会場地市町村が別途協議するものとする。

第 8 4 回国民スポーツ大会 記録業務基本方針（案）

第 8 4 回国民スポーツ大会における競技成績等記録の収集、速報および総合成績の算出に関する業務（以下「記録業務」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民スポーツ大会開催基準要項」、「同細則」および「国民スポーツ大会記録情報処理要項」に基づき行うほか、次の基本方針により実施する。

1 記録業務の推進

県、会場地市町村および関係競技団体は、記録業務を分担し、相互に連携を図りながら、正確かつ迅速に記録業務を推進する。

2 記録本部の設置

県および会場地市町村は、記録業務を円滑に推進するため、それぞれ記録本部を設置する。

3 記録システムの使用

県は、記録業務を効率的に実施するため、競技成績等記録を正確かつ迅速に処理することのできる記録システムを使用する。

4 その他

この方針に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

第 8 4 回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項（案）

1 趣旨

この要項は、「第 8 4 回国民スポーツ大会競技運営基本方針」に基づき、第 8 4 回国民スポーツ大会（以下、「国スポ」という。）における各競技会の円滑な運営に資するために、会場地市町村と関係競技団体が実施する競技別リハーサル大会（以下、「大会」という。）に関して基本的な事項を定める。

2 目的

大会の目的は、次のとおりとする。

- (1) 会場地市町村および関係競技団体の競技会運営能力の向上を図り、国スポの円滑な開催に資する。
- (2) 県民の国スポおよび競技に対する関心を高め、理解を深めるとともに、国スポ開催の機運醸成をはかる。

3 開催期間および回数

大会は、会場地市町村と関係競技団体が協議の上、各会場地において国スポ開催前年度から国スポ開催時までの間に、原則として 1 競技につき 1 回実施できるものとする。

4 大会の開催

大会は、会場地市町村および関係競技団体が協力して開催するものとし、分散開催の競技については、複数の会場地市町村により共同で開催することができるものとする。

5 大会の規模

大会は、原則として参加者数および競技役員数等が国スポを上回らないものとし、中国地区大会の活用等に努めるものとする。

なお、これによらない場合は、県と別途協議するものとする。

6 大会の運営

- (1) 大会は、国スポにおける各競技会に準じ、運営する。
- (2) 大会に使用する施設は、原則として国スポで使用する施設とする。
- (3) 大会は、会場地市町村および関係競技団体の実情に応じたものとし、双方が協力して創意工夫することにより、簡素で効率的な運営に努める。

7 大会の経費

- (1) 大会の経費は、会場地市町村および関係競技団体が負担するものとする。
- (2) 大会は、華美、過大にならないよう留意し、その経費については、大会の目的が達成できる必要最小限度にとどめるものとする。

8 開催の手続き

大会を開催する会場地市町村は、関係競技団体と協議の上、大会開催申請書を県に提出し、承認を求めるものとする。

なお、提出する申請書および提出時期については、別に定める。

9 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

第84回国民スポーツ大会・デモンストレーションスポーツ
実施競技及び会場地市町村 第1次選定（案）

	実施競技	主管団体名	市町村	開催予定施設
1	フットサル	(一社) 島根県サッカー協会	益田市	益田市民体育館
2	ビリヤード：ナインボール	島根県ビリヤード協会	安来市	Billiards&Café ARITTO

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会事務局

(島根県環境生活部島根かみあり国スポ・全スポ準備室内)

〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

TEL:0852-22-6097

FAX:0852-22-6833

E-mail: kokumin-sports@pref.shimane.lg.jp